

「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会発言要旨  
—安心部会—

開催日：平成23年10月3日（月）13：30～15：30

場 所：トキハ会館5F カトレア

出席委員： 由佐委員 安東委員 内田委員 大山委員  
金井委員 河村委員 坂本委員 佐藤委員  
辻野委員 松田委員 村上委員 渡邊委員

- 祖父母による子育て支援（孫育て支援）などの取り組みを追加したらどうか。
- 障がい児などの療育支援充実のため、児童心理士などの人材の確保が必要ではないか。
- 会社等の周りの人に理解されにくい「新型うつ」の対策も必要ではないか。
- 自転車の交通ルールのマナーの悪化や事故の増加への対策を追加したらどうか。
- 災害で発生したガレキの処理問題など、2次災害をいかに防ぐか、といった視点が必要ではないか。
- 昔からの伝承の中に災害に関する内容がある。大規模災害における伝承の取り組みを追加したらどうか。
- 感染症対策には、日本脳炎、肺炎、エイズ等を追加したらどうか。
- 各地域に子ども議会等があるが、高校生などの生徒会長らの代表を集めて、本当に住みやすい大分県なのかどうかの意見の集約などができるとうい。
- 医師不足の状況は医師の絶対数の確保が大切だと思う。医師の県内定着の推進とあるが具体的な取り組みをもう少し踏み込んでいかないと希望が持てない。
- 障がい者の就労では、目標指標として平均工賃月額が指標となっているが、是非、平均工賃の時間給を指標に加えていただきたい。そこで県内の最低賃金との比較などを行い施策に取り組んで欲しい。